

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 4 月 11 日現在

機関番号：34428

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2007～2011

課題番号：21720277

研究課題名（和文） フェミニズムとファシズムの「接点」
—メアリ・アレンと戦間期イギリス社会—研究課題名（英文） Feminism and Fascism
: Mary Allen and the British Society during the inter-war period

研究代表者 林田敏子（HAYASHIDA TOSHIKO）

摂南大学・外国語学部・准教授

研究者番号：10340853

研究成果の概要（和文）：

女性参政権獲得後、フェミニズム運動が分裂の危機におちいるなか、ファシズムに惹かれていったメアリ・アレンは、ファシスト組織 British Union of Fascists に入党したあとも、フェミニストとしての自己意識を失わなかった。彼女のような「フェミニスト・ファシスト」は、こうした特殊な状況下でこそ成立しうる概念であり、フェミニズム運動とファシズム運動の「共闘」は、戦間期イギリス社会のもっとも大きな特徴を表しているといえる。

研究成果の概要（英文）：

While the majority of inter-war feminists fought against fascism, some ex-suffragettes like Mary Allen were associated with the fascist movement in the inter-war years. The ex-suffragettes' offensive action against contemporary feminism was motivated by their disillusionment with the outcome of female enfranchisement. The suffragettes who turned to fascism like Mary Allen, however, retained their identification as feminists. Allen, ultimately rejected the liberal democracy insisted the continuity between their militant feminism and fascism and tried to prove the benefits of this relationship. The close relationship between suffrage militancy and British fascist politics was persistent farther throughout the inter-war period.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009 年度	1,400,000	420,000	1,820,000
2010 年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2011 年度	600,000	180,000	780,000
年度			
年度			
総計	3,100,000	930,000	4,030,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・西洋史

キーワード：西欧近現代史

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

1. 研究開始当初の背景

女性の職業開拓を掲げるイギリス初の女性警察組織 Women Police Service を研究する過程で、その指導者メアリ・アレンの特殊な経歴に着目するようになった。フェミニストからファシストへ、左右の両極を揺れ動いた彼女の生涯をたどるなかで、フェミニズムやファシズムを、固定化された（完成した）思考の枠組みとしてとらえることそのものに疑問をもつようになり、これら二つの概念を、一つの歴史的文脈のなかで理解する必要性を認識するに至った。

2. 研究の目的

人生の前半をフェミニストとして、後半をファシストとして生きた一人の女性（メアリ・アレン）の生涯を通して、女性の権利拡大を目指したフェミニズムと、独裁による専制主義を標榜したファシズムの「接点」をさぐる。アレンの思想を一貫したものととらえることで、二つの世界大戦と、二つの思想を一つの歴史的文脈のなかに位置づけることを目指す。

3. 研究の方法

(1) アレンの生涯を 20 世紀史のなかに位置づけ、その活動の全貌を明らかにするとともに、アレンが率いた Women Police Service が、第一次世界大戦後に直面した問題を整理することで、この時期のフェミニズムが抱えていたジレンマを明らかにする。

(2) 第一次世界大戦後、アレンがファシスト組織に接近していく経緯をたどりながら、フェミニズムとファシズムという二つの概念の接点をさぐる。

(3) イギリス初のファシスト組織 British Fascists やイギリス最大のファシズム組織 British Union of Fascists のジェンダー観（とくに女性観）や女性動員に関する戦略を整理した上で、アレンのようにファシズム運動に関わったフェミニストの活動を分析する。

4. 研究成果

20 世紀初頭、戦闘的サフラジェットとして女性参政権運動に携わったメアリ・アレンは、第一次世界大戦中、イギリス初のヴォランティア女性警察を率いるなど、女性の職業開拓を掲げるフェミニストとして活躍した。ところが、戦後、首都警察内に女性パトロール隊が発足すると、首都警察に制服の着用をめぐ

る裁判をおこされるなど、徹底した排除の対象となった。

戦後のフェミニズムに限界を感じたアレンが、フェミニストとしての自己実現をはかる場、すなわち彼女自身の「解放」の場として選択したのがファシズムだった。また、ファシズム組織の側も、参政権を獲得したばかりの女性を取り込むために、いわば男女平等のシンボルとしてフェミニストを利用した。「フェミニスト・ファシスト」は、こうした特殊な状況下でこそ成立しうる概念であり、フェミニズム運動とファシズム運動の「共闘」は、戦間期イギリス社会のもっとも大きな特徴を表しているといえる。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 1 件）

林田敏子、警察とジェンダー—20 世紀イギリスにおける女性警察—、歴史学研究（歴史学研究会）、査読有、第 860 号、2009、26-35、75。

〔学会発表〕（計 0 件）

〔図書〕（計 1 件）

林田敏子、大日方純夫ほか、ミネルヴァ書房、近代ヨーロッパの探求 警察、2012、1-14、235-274。

〔産業財産権〕

○出願状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

林田 敏子 (HAYASHIDA TOSHIKO)
摂南大学、外国語学部・准教授

研究者番号：10340853

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：